

▶自分が書いた風を見つけ感動する生徒たち



大空に舞う連風のように未来へ羽ばたけ！

東部中で連風揚げ

3月6日、東部中学校で卒業生の前途を祝う恒例の連風揚げが行われました。育友会父親部が中心となって一つひとつの風作りを始めたのは2月。それに3年生の生徒49人が、「叶」（夢が叶うように）や「始」（今から始まり）など、それぞれの目標や夢、願いの一文字を書き入れ、保護者や先生達も作成を共にしました。140個以上になった風を繋げると約250mもの連風になり、当日は強風の影響で最初、思うように揚がらなかったものの、ひとたび風をつかむと生徒の思いと舵を取った父親らの力が一つになって大空に舞い上がりました。

卒業を迎える生徒たちは、自分が書いた文字を大空の中で探しながら「うれしいです。中学校最後の思い出になりました」「素敵！」と感動。大空で風に乗る風は、まるで未来に羽ばたく生徒たちのようで、学び舎から育つ生徒たちに大きな力を与えていました。

小学校生活が待ち遠しいね！

幼保小交流活動で楽しい学校探検

北部小学校で2月26日、今春1年生になる園児を迎え、「年長さんと学校探検」と題した催しが行われました。

これは、就学前教育から小学校教育にスムーズに移行できるように年間を通して取り組まれる『幼保小交流活動』のカリキュラムの1つで、訪れたのは、ひしのみ幼稚園、カトリック幼稚園、和光保育園、杉の子保育園の園児89人。園児は、2年生58人が手作りした探検カードを片手に、お兄ちゃん、お姉ちゃんと手をつないで校内の音楽室や図書室など9つを探検しました。

児童は、お世話ができたことを喜び、園児は小学校への興味や期待を膨らませ、お互い一緒に学校生活が待ち遠しい様子でした。



- ▲2年生の案内で1年生の授業を静かに見学する園児
- ◀探検が済んだら、シールを貼りました



▲約60人が参加し、西多久町を考える会（飯守康洋会長）の主催で行われた植樹の様子

桜満開の春を楽しみに町民が記念の植樹

宝満山でグランドゴルフ大会も・西多久町

西多久町宝満山公園で3月1日、グランドゴルフ大会や記念植樹が行われました。芝のグランドで熱戦が繰り広げられたグランドゴルフ大会は、16チーム（1チーム6人）が参加。ホールインワンも飛び出し、八久保・船山チームが優勝しました。また、旧西部中16回卒業生が還暦を迎えた記念に花木を町に寄贈。桜10本が公民館裏山に、キンモクセイが宝満山公園に、老人クラブからのツツジ30本と共に記念植樹されました。卒業生幹事の野口さんは、「同級生17人が参加し、植樹ができてよい思い出になりました。満開の桜の下で同級会ができる日が楽しみです」と話され、みなさんの協力にも感謝。参加者も宝満山から桜や紅葉の美しい景色の広がり想像し、美観が待ち遠しい様子でした。